



天王森通信



2021年5・6・7月号 No.110 発行：天王森泉公園運営委員会

「歴史と自然を受け継ぎ、みんなに愛される憩いの天王森」を目指して

天王森泉公園は、天王森泉館を中心に昔ながらの原風景を残した緑豊かな自然、そしてホタルやワサビを育む豊富な湧き水のある公園です。当公園は横浜市より指定管理者として、地域住民の郷土文化に関する体験活動および身近な自然に親しむための文化体験活動を地域住民のボランティアによって運営しています。今年11月には開園24周年を迎えることになりました。これも来園者の皆様、近隣地域のみなさんのご理解ご協力を頂き継続することができています。昨年度は、横浜市の南部公園緑地事務所と私達公園運営委員会とで、「天王森泉公園保全管理計画」を作成しました。計画を推進するには、公園にどうボランティアが不可欠です。「私もボランティアに参加して楽しもう」と少しでも思われましたらボランティアまたは事務局に声を掛けてください。参加をお待ちしております。

天王森泉公園運営委員会会長 角本 等

開園24年の今年、昨年来よりコロナ感染症拡大防止緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などの適応により、生活習慣が急変している社会でもあります。今年度公園では新しい「キャッチフレーズ」の基、豊かな自然、歴史的建造物「古民家」を中心に、事業展開を進めてまいります。歴史と文化・豊かな自然等々念頭に、ボランティア各位の創造性を形にし、皆さんに親しまれる憩いのステージへ事務局一丸となり舵取りに徹して参ります。公園に関するお尋ね事は、事務局にお問い合わせください。

事務局

《天王森の自然案内》

たくさんの花が咲く野の花苑にはクロアゲハ、モンキアゲハ、ナガサキアゲハなどアゲハチョウの仲間やベニシジミ、ヤマトシジミ、ツバメシジミなどシジミチョウの仲間が吸蜜に訪れます。くわくわ森ではカシノナガキクイムシによる被害で大量のクヌギ、コナラが伐採されて初めて迎える初夏、ミズイロオナガシジミは観られるでしょうか？ 期待と心配が交錯します。

せせらぎで羽化したのでしょうか ヤマサナエ、コオニヤンマなどのトンボがじっと止まっているかもしれませぬ。上空にはコシアキトンボも飛んでいるでしょう。



自然観察 倉川典夫

《くわくわ森の再生》

くわくわ森はクヌギ・コナラを主な樹木として、薪炭林として使われてきました。その林床の植物や昆虫、野鳥なども薪炭林と共に育ったものです。残念なことに、昨年からカシノナガキクイムシによる被害が増え、伐採が進んでいます。来園者の安全を考えながら、生き物たちの環境を整え、生物多様性を守っていく森づくりを、今年から目指していきます。天王森が、地域の特徴を残した憩いの公園としていつまでも残るよう、ボランティア一同活動を続けていきます。

By 山本 T

《行事案内》

5月～7月の行事ご案内



*竹の子祭り・4月11日(日):春一番体験の場、コロナ禍の真ただ中、**中止**

*大人の竹細工・5月16日(日):ボランティア諸兄が育んだ間伐竹材の加工の場が**中止**

*春の野鳥観察会・5月16日(日)参加予約制

*田植え体験・5月29日(土) **詳細問い合わせ**

*ホタル観賞会・6月:夕闇の幻想的な舞に遭遇できるはずだった**鑑賞会中止**

*七夕まつり・7月7日(水):七夕飾りに一言添えて天の川へ・・・縮小実施します。



《くわくわ森自然環境保全活動》

森を手入れするためには、まずそこに暮らしている生き物たちの生活を知り、その環境を整えながら保全作業をすることが大事です。月に一回生き物調べとして調査し、記録を取ります。また、春の花の時期には、貴重な植物の生育調査を行い、保護して地図に記録します。記録をもとに、来園者が安全に散策できるか、野鳥や昆虫が身を寄せる場所があるか、野草の生育状況を見てもらえるかなどを考えて、森の手入れの度合いをボランティアに伝えて作業に取り組んでいます。

By 山本 T

《館事業（2～4月）の報告》

見た・聞いた・やったね！

《保全作業》

下記事業の実施に当たり、関係者と協議の結果中止としました。

◎吊るし雛展示：2月

◎シイタケ菌打ち体験：3月

ボランティア少数精鋭にて菌打ち実施

◎間伐竹の子堀り：4月

ボランティアにより適宜竹の子の間伐実施



By 大西

昨年から森の危険木が伐採されて、森が明るくなりました。それでもまだ枯れた木や、暗く生い茂って木などが残っています。危険度を伴う高木などは南部公園事務所が業者に頼みますが、危険度の少ないものや、剪定・草刈りはボランティアの出番です。

話し合いながら作業を進め、皆で働いた後の爽快感はなんとも言えません。森の精気をもらい、元気に暮らせます。



By 山本 T

《来園者訪問録》

＜何でこの公園を知りました？＞

横浜にこんな場所があるなんて初めて知りました。緑区からウォーキングで近隣に来ましたが、この場所があると聞いて、立ち寄りしました。建物が古くて、とても懐かしい雰囲気、落ち着いた佇まいが気に入りました。また来てみたいと思います。

～ 緑区 Aさん ～



《わたしの天王森感》

ボランティア歴2年

一極化した東京の、建物と人のあまりの多さに違和感を覚えながらも、毎日満員電車で揺られ、大勢の人と共に灰色のジャングルに飲み込まれてゆく。そして週末になると、動植物たちの息吹と透明感あふれるこの泉の森に、体ごと吸い込まれるように戻ってくる。生まれ育った地域へ感謝の気持ちとともに、にわか仙人（そまびと）となり、この森を守ってゆくことに喜びと誇りを感じています。

By 清本

《天王森の自慢》

四季を通じて、色々な顔を見せる天王森泉公園です。野の花苑では、季節を通じて野草が咲き、来園者を迎えてくれます。裏庭の竹林では古都京都のような雰囲気味わえます。また泉館では、都会のざわめきから逃れ、のんびりとしたひと時が味わえます。晴れた日は泉館二階から富士山を見ることができます。あなたも天王森泉公園へ来てみませんか。

事務局 武智

《花を楽しむ野の花苑》

桜の開花が早かった様に、野草も今年は、早く咲き短い日数で終わりそうです。野の花苑に入って来て、すぐ左側に3月中旬頃までは、気づきにくい所に咲いていたキツネアザミ、ウツボグサ、ミヤマオダマキを植えました。キツネアザミは今きれいに咲いています。湿ったところに生えるムラサキサギゴケも竹林の手前に沢山咲いています。足元の草地も見てください。春が一番花の数が多いように思われますが、今日は何の花に出会えるか楽しみに、お出かけください。



野の花会 井上

《同好会トピックス》 ～ そば打ち ～

*三密・マスク・フェイスシールド・人員制限など考慮、巷のコロナ感染状況など配慮し実施日を模索します。当面お家そば打ちを推奨します。

*その他「生け花同好会」「写真同好会」があり、生け花同好会は毎月第二月曜日に活動しています。写真同好会は活動休止中ですが、近々、写真展を開催し、泉館二階に展示予定です。あなたの写真待ってます。



天王森泉公園のホームページ

<https://www.tennoumori.net>



当公園 QRコード

《編集室より》

今月号より、新編集長のもと、内容を一新してお届けしていきます。皆さんに読んでいただき「天王森泉公園に訪れてみようかな」と思いを馳せる紙面づくりを目指していきます。

By 武智

天王森泉館利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第2・4火曜日（祝日は翌日）

年末・年始（12月29～1月3日）

問合せ先：天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用：利用日の2ヶ月前より申込受付